

平成12年(2000年) 10月21日 土曜日

産 経 新 聞

アジア欧州会議で各国首相と並ぶ森喜朗首相（中央）。
原則を曲げた北朝鮮との過去の交渉内容を明らかにした
—20日、ソウル（共同）



「ASEM鉄道」で主役気分？

森喜朗首相は二十日、アジア欧州会議（ASEM）のワーキングランチの席上、日本、アジア、欧州を結ぶ「ASEM鉄道」構想を示し、場内から笑いと称賛の拍手を受けた。

口火を切ったのは韓国の金大中大統領。北朝鮮と北緯三八度線で寸断されている京義線復旧に意欲をみせるとともに、九月下旬に静岡県熱海市で開かれた日韓首脳会談の晩さん会で「日韓に海底トンネルができ

森首相が構想提案

れば、日本、アジア、欧州は鉄路で一つに結ばれる」と日韓海底トンネル建設構想を提案したことを紹介。

これに森首相が「技術的には可能だ。問題は資金だが、大きな関心をもっている」と呼応。「もしこの鉄道ができればASEM鉄道と名付けたい」と言う。フランスのシラク大統領らが「ブラボー」と拍手。森首相も「夢のトンネル」で主役気分を味わったようだ。（ソウル 乾正人）